

# コントラクターをめぐる状況

生産局畜産部畜産振興課

平成 2 0 年 7 月

農林水産省

## 1 コントラクターの推移について

### (1) 組織数の推移

平成18年度と平成5年度を比較すると全国、北海道の組織数で約10倍、都府県の組織数で約9倍と高い伸びとなっている。

◎組織数の推移

(単位：組織数)

区分	平成5年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
北海道	16	42	55	54	77	82	107	122	146	159	165
都府県	31	80	94	98	103	118	160	195	254	278	282
全国	47	122	149	152	180	200	267	317	400	437	447

資料：生産局調べ

### (2) 利用戸数及び受託面積(飼料収穫作業)の推移

平成18年度は、全国で利用戸数約21千戸、受託面積(飼料収穫作業延べ面積)で約102千haとなった。

平成18年度と平成5年度と比較すると利用戸数で約6倍、受託面積で約8倍に増加している。

特に畜産主産地である北海道では、利用戸数が約14倍、受託面積が約10倍と高い伸びとなっている。

◎利用戸数及び受託面積の推移

(単位：戸数、ha)

区分	平成5年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	
北海道	利用戸数	536	1,966	2,954	3,034	3,249	4,345	4,687	7,269	7,504	6,940	7,491
	受託面積	8,718	28,899	39,636	43,790	51,869	57,173	66,969	78,683	78,107	85,267	89,712
都府県	利用戸数	2,844	4,054	12,015	11,351	11,724	11,968	10,200	15,023	12,299	11,335	13,165
	受託面積	3,963	8,874	11,804	10,391	9,712	10,168	9,924	10,864	11,567	12,485	11,991
全国	利用戸数	3,380	6,020	14,969	14,385	14,973	16,313	14,887	22,292	19,803	18,275	20,656
	受託面積	12,682	37,773	51,440	54,181	61,581	67,341	76,891	89,546	89,674	97,752	101,702

資料：生産局調べ

- 注1：利用戸数、受託面積は、コントラクター組織のうちアンケート調査回答組織  
 (平成15年度317組織、回答275組織、平成16年度400組織、回答336組織、  
 平成17年度437組織、回答366組織、平成18年度447組織、回答379組織)  
 注2：利用戸数は、畜産農家の利用戸数、受託面積は飼料収穫作業延べ面積  
 注3：ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。

(3) 受託畜産農家の内訳 (平成18年度)

酪農経営と肉用牛経営の飼料生産の受託状況をみると、北海道では、利用戸数、受託面積ともほとんどが酪農経営による受託となっているが、都府県では、利用戸数、受託面積ともに肉用牛経営の割合が高くなっている。

◎飼料生産受託畜産農家の内訳

(単位：戸数、ha)

区分	畜産農家			畜産農家		
	利用戸数	うち酪農経営	うち肉用牛経営	受託面積	うち酪農経営	うち肉用牛経営
北海道	7,491	6,256 (83.5)	162 (2.2)	87,345	75,578 (86.7)	2,327 (2.7)
都府県	13,165	1,692 (12.9)	8,766 (66.6)	10,721	4,239 (39.5)	5,598 (52.2)
合計	20,656	7,948 (38.5)	8,928 (43.2)	98,066	79,816 (81.4)	7,925 (8.1)

資料：生産局調べ

注：利用戸数、受託面積は、調査の回答があったコントラクター分の集計であり、合計が100%にはならない。

(4) 作業別受託面積(飼料収穫作業を除く)の推移

平成11年度からの7年間に、堆肥散布作業は約3倍と高い伸びとなっており、稲わら等収穫作業も近年増加している。

◎作業受託面積の推移

(単位：ha)

		11年度	12年度	13年	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
北海道	耕起等作業	3,825	3,823	4,437	5,278	5,584	4,545	3,582	3,117
	堆肥散布作業	10,118	12,527	20,799	16,544	23,743	26,333	28,708	27,818
	稲わら等収穫作業	178	196	219	98	139	259	327	293
	飼料生産関連作業	10,221	17,356	13,858	29,046	27,686	20,556	22,021	23,309
	その他の農作業	6,475	7,919	6,227	5,921	13,799	12,006	16,024	18,104
都府県	耕起等作業	1,317	1,679	3,196	3,066	1,629	1,409	1,426	1,487
	堆肥散布作業	1,763	1,077	1,355	1,409	1,290	2,081	2,869	3,098
	稲わら等収穫作業	1,083	1,785	1,711	1,346	1,749	2,134	2,627	2,629
	飼料生産関連作業	2,122	2,183	3,014	2,922	2,515	2,751	3,227	3,386
	その他の農作業	3,300	4,951	2,583	6,135	9,907	9,797	6,824	12,871
全国	耕起等作業	5,142	5,502	7,634	8,344	7,212	5,954	5,008	4,604
	堆肥散布作業	11,881	13,604	22,154	17,953	25,033	28,414	31,577	30,916
	稲わら等収穫作業	1,261	1,981	1,929	1,444	1,888	2,394	2,954	2,922
	飼料生産関連作業	12,342	19,539	16,872	31,968	30,201	23,307	25,248	26,695
	その他の農作業	9,775	12,870	8,810	12,056	23,706	21,803	22,848	30,976

資料：生産局調べ

注：ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。

## 2 経営形態別のコントラクター組織の状況（18年度）

コントラクターのうち最も多い経営形態は営農集団等で全体の約6割を占め、有限会社、農協がこれに次いでいる。  
一方、利用戸数は営農集団が、受託面積（飼料収穫作業延べ面積）は農協が最も大きなウエイトを占めている。

## ◎経営形態別コントラクター組織の概要

（単位：組織数、戸数、h a）

経営形態	全組織数	調査対象組織	利用戸数	受託面積
農協	48 (27)	43 (23)	5,391 (2,765)	33,614 (31,236)
有限会社	78 (49)	72 (45)	5,421 (2,446)	26,381 (24,987)
株式会社	11 (9)	12 (11)	440 (440)	5,151 (5,151)
公社	17 (3)	16 (2)	3,181 (325)	2,258 (1,108)
農事組合法人	37 (10)	31 (6)	465 (220)	5,335 (4,275)
営農集団等	256 (67)	205 (51)	5,758 (1,295)	28,963 (22,955)
合計	447 (165)	379 (138)	20,656 (7,491)	101,702 (89,712)

資料：生産局調べ

注1：（ ）内は、北海道で内数。

2：ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。

3：利用戸数は、畜産農家の利用戸数、受託面積は飼料収穫作業延べ面積

### 3 地域別の状況（18年度）

組織数では、畜産主産地である北海道が165組織、九州104組織、東北70組織となっており、他の地域に比べ取り組みが進んでいる。

### ◎地域別コントラクター組織の状況

(単位：組織数、戸数、ha)

地域別	全組織数	調査回答組織数	利用戸数	受託面積
北海道	165	138	7,491	89,712
都府県	282	241	13,165	11,991
東北	70	56	1,249	2,851
関東	30	27	382	908
北陸	2	2	0	0
東海	12	11	130	144
近畿	6	6	2	41
中国・四国	45	40	260	799
九州	104	86	7,577	3,897
沖縄	13	13	3,565	3,349
全国	447	379	20,656	101,702

資料：生産局調べ

注1：ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。

注2：利用戸数は、畜産農家の利用戸数、受託面積は飼料収穫作業延べ面積

#### 4 作業受託面積の内容（平成18年度）

(1) コントラクターの総受託面積は約19.8万haとなっており、このうち約5割の約10.2万haが飼料収穫作業面積となっている。

このほか、耕起等作業、堆肥散布等作業、稲わら等収穫作業、草地更新作業等を受託している。

また、耕種作業等についての受託もあり、堆肥散布作業の他、水稻の移植、収穫及び農薬散布作業、麦の播種作業、野菜の耕起作業等を受託している。

(2) 受託面積に占める各項目の割合を地域別にみると、飼料収穫面積が多いのは北海道、九州、沖縄、東北となっており、受託作業全体では、北海道、九州、東北の面積が多くなっている。

◎作業受託面積の内容

(単位：ha、%)

	受託面積		飼料収穫作業		耕起等作業		堆肥散布等作業		稲わら等収穫作業		飼料生産関連作業		耕種作業等	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合
北海道	162,354	100.0%	89,712	55.3%	3,117	1.9%	27,818	17.1%	293	0.2%	23,309	14.4%	18,104	11.2%
都府県	35,461	100.0%	11,991	33.8%	1,487	4.2%	3,098	8.7%	2,629	7.4%	3,386	9.5%	12,871	36.3%
東北	9,085	100.0%	2,851	31.4%	337	3.7%	628	6.9%	512	5.6%	1,299	14.3%	3,459	38.1%
関東	3,774	100.0%	908	24.1%	197	5.2%	581	15.4%	564	14.9%	549	14.5%	975	25.8%
北陸	306	100.0%	0		0		3		0		0		303	99.0%
東海	783	100.0%	144	18.4%	71	9.1%	23	2.9%	239	30.5%	20	2.6%	286	36.5%
近畿	120	100.0%	41	34.2%	0		0		58	48.3%	11	9.2%	10	8.3%
中国・四国	3,385	100.0%	799	23.6%	163	4.8%	1,055	31.2%	145	4.3%	183	5.4%	1,040	30.7%
九州	14,341	100.0%	3,897	27.2%	709	4.9%	808	5.6%	1,111	7.7%	1,015	7.1%	6,800	47.4%
沖縄	3,668	100.0%	3,349	91.3%	9	0.2%	0		0		309	8.4%	0	0.0%
合計	197,815	100.0%	101,702	51.4%	4,604	2.3%	30,916	15.6%	2,922	1.5%	26,695	13.5%	30,976	15.7%

資料：生産局調べ

※構成比は受託面積（延べ）を100%とした各面積の比率

飼料生産関連作業とは、草地更新作業（播種等）、除草剤散布作業等である。

耕種作業等とは、水稻、大豆、麦等の移植、播種、収穫作業等である。